

平成24年度社会貢献青少年表彰受賞者

《内閣府特命担当大臣表彰 14件》

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
1	団体	青少年非行防止ボランティアサークル ASSIST	非行から少年を守りたいという思いから発足したサークルは、放課後の見回り、児童センターでの非行防止教室の開催、繁華街の落書き消しの環境美化等、兄や姉の立場で少年たちを見守り、非行防止活動に取り組んでいる。	岩手県
2	団体	南三陸町ボランティアサークル「ぶらんこ」	中・高生のジュニアリーダーによるサークルは、子どもたちの世話やイベントのボランティアスタッフとしての協力などを通じて地域のコミュニティの形成に取り組んでいる。東日本大震災後も子どもと大人の懸け橋として意見提案を行うなど、地域の再生を目指して積極的な活動を展開している。	宮城県
3	団体	江戸川消防少年団	規律訓練や防火防災に係る知識・技術を身に付け、「安心安全防災マップ」を作成するなど同世代の防災リーダーとして地域の安全の実現に努めるほか、老人ホームを訪問しての交流や各種イベントに参加するなど地域に密着した活動を実施している。	東京都
4	団体	見附市立見附第二小学校杉の子会	昭和44年から市の依頼を受けて、12月から3月の間、毎朝グラウンド等の降積雪観測を行い、長年集積された統計資料は、豪雪地である市の除雪や防災の面から利用価値が高く、県の防災事業や雪害対策推進の貴重なデータになっている。	新潟県
5	団体	大崎文化保存会・しおかぜ太鼓	地区に伝わる太鼓演奏の再現と青少年健全育成を目的に発足した保存会は、文化の継承を図るとともに、人間関係や規範意識の醸成を図り、老人ホームの慰問や各種イベント等に参加する社会奉仕活動や、居場所作り活動の拠点として非行少年の立ち直り支援にも尽力している。	愛知県
6	団体	名古屋女子大学中学校高等学校 吹奏楽マーチングバンド部	長年、全国大会で優秀な成績を収める一方、地域の祭りやチャリティイベント等で独創性のある趣向を凝らした演奏や演技を披露し、音楽に触れる機会を提供するとともに、地域に感動や元気を与えている。	愛知県
7	団体	一般社団法人 ガールスカウト大阪府連盟 “ピースメッセンジャー”	世界各地の難民に日用品や文房具を贈る取組のほか、毎年ミャンマーを訪れて、ラッピング、フラワーアレンジメント、髪飾り(シュシュ)等の作成方法の指導、手洗い・歯磨き指導を実施するなど様々な平和提唱活動を展開している。	大阪府
8	団体	関西学院ヒューマンサービスセンター	阪神・淡路大震災の際に組織され、避難所の支援活動、仮設住宅の記録活動、学童保育等状況の変化に合わせた活動を行い、国内の自然災害時の復旧活動、中越沖地震被災者への支援活動等に取り組み、東日本大震災においても募金活動や学生ボランティアの派遣を行っている。	兵庫県

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
9	団体	山波地区子ども会	子ども会として様々な行事に参加するだけでなく、地域の祭りや伝統行事では中心となって活動して、地域の方々と触れ合うことで絆が生まれ、伝統文化の継承だけでなく、子どもたちと地域のつながりがまち作りに発展している。	広島県
10	団体	八代小学校緑の少年隊	特別天然記念物「ナベヅル」の本州唯一の越冬地で、近年減少している飛来数回復のため、地域と連携しながら保全活動を行うほか、絶滅危惧種の「ギフチョウ」の繁殖・飼育・放蝶を行うなど環境保全活動を継続している。	山口県
11	団体	愛媛県立新居浜工業高等学校VYS部	使われなくなった車椅子を修理・再生し、地元の福祉施設や個人を始め、海外の福祉施設等に約1,350台の車椅子を贈っているほか、地元や韓国の福祉施設を訪問し、車椅子の修理を行うとともに、施設の行事に参加して利用者との交流活動も行っている。	愛媛県
12	個人	福島 梨紗 (23)	町のジュニアリーダーズクラブを立ち上げ、現在は指導者として「危険予知トレーニング講習会」の開催等で活躍し、県のシニアリーダーズクラブでの活動や子ども会からも良き相談相手として依頼を受けるなど地域の活性化に寄与している。	神奈川県
13	個人	白井 麻里奈 (17)	重度の障害を持ちながらボランティアとして、福祉施設、病院、学校、地域のイベント等で演奏活動を続け、障害児者の社会参加や理解の普及に努めている。地域で実施した東日本大震災被災者支援のための演奏会にも積極的に参加している。	山梨県
14	個人	畑本 康介 (30)	和太鼓の体験指導や施設訪問等で和太鼓演奏の普及に努め、地元自治会や旅館組合と連携して観光客おもてなしの演舞を実施するほか、江戸時代の味噌蔵を改装した地域の交流拠点の運営に関わるなど地域の活性化事業に尽力している。	兵庫県